

史跡陸軍板橋火薬製造所跡整備基本計画（原案）について

平成31年度より策定作業を進めてきた「史跡陸軍板橋火薬製造所跡整備基本計画」について、素案のパブリックコメントを実施したのち、以下の検討過程を踏まえ原案を取りまとめたので報告する。

1 パブリックコメントの実施状況及び区の考え方の公表

実施期間 令和2年1月27日（月）～2月14日（金）（19日間）
意見提出者数 12名（27件）

意見の概要と区の考え方（抜粋）

意見の概要	区の考え方
<p>史跡の保存と活用の両立に重きを置く板橋区の活動に、強く賛成いたします。</p> <p>利便性に目を向けるばかりに重要な遺跡を失う地域が多くある中で、自治体が率先して歴史・文化の保存・活用に力を入れることは大変素晴らしいと思います。</p> <p>1つの史跡のみでなく、周辺地域を一体的に捉えた活用というのは、個人や企業ではない自治体だからこそできる取り組みです。是非、当史跡が持つ価値を守りながら、板橋区の観光地になるような場所に整備いただければと思います。</p> <p>飽くまで個人的な意見ではありますが、ありがちな「資料室」のようなものではなく、より地域の方々が身近に感じられる施設にしていきたいです。</p>	<p>史跡公園の計画にご賛同いただき、誠にありがとうございます。</p> <p>保存活用計画第7章「活用」では、「文化財の保存に対する気運が高まるように、文化財の魅力を幅広く伝え、その価値の理解を拓げる」ために、史跡の「保存と活用の適切なバランスを保つ」ことをお示ししており、当史跡の保存と活用によって、地域の歴史や文化を後世に伝えていくことをめざしています。</p> <p>これを具現化していくため、整備基本計画第5章10「公開・活用に関する計画」では、観光の視点に立ち、史跡や周辺地域をめぐる見学ツアーや石川県金沢市との友好交流都市の関係をいかした事業を展開することで、史跡と周辺地域との回遊性を構築し、史跡の持つ近代産業遺産としての価値をいかした観光拠点として、史跡公園を整備していくことをめざしています。</p> <p>また当史跡では、「当該地域における生涯学習・社会教育施設」として公開・活用していくために、ガイダンス施設の整備をめざし、教育普及活動・ラーニングプログラムを効果的に実施していくことも検討しており、地域の方々にとって身近に感じられる施設になるようさまざまな施策を展開してまいります。</p>

意見の概要	区の方考え方
<p>歴史ある設備の改修にとどまらず、残しつつも、大型化しても良いと考える。体験して、研究というものの重要性を伝えるイベントや、体験型のテーマパークにするぐらいの物を作って欲しい。</p>	<p>整備基本計画第5章10「公開・活用に関する計画」でお示しました通り、旧理化学研究所跡地を「未来志向型の産業ミュージアム」として整備し、展示等教育普及事業として各種講座やイベント、体験学習などを行う積極的な公開・活用事業を、文化財保護の視点とのバランスを考慮しながら展開していきます。</p>

2 パブリックコメント終了後の検討経過

令和2年3月12日（木） 産業遺産検討会（電子会議室を利用）

令和2年3月19日（木） 史跡陸軍板橋火薬製造所跡整備基本計画策定委員会

3 素案からの変更点

軽微な表記上の修正を行ったほか、大きな変更点はなかった。

4 今後の予定

令和2年5月	パブリックコメントの公表	
令和2年6月	計画書の刊行	

5 参考資料

参考資料1：史跡板橋火薬製造所跡保存活用計画・整備基本計画に対するパブリックコメントと区の方考え方

参考資料2：史跡陸軍板橋火薬製造所跡整備基本計画【原案】